



1



2



4



3



5



6

1妻の「永田かんびん」さんはイラストレーターとして活躍中2広い窓から眺める八幡神社の景色に癒やされる34事務所には田熊さん・かんびんさんの著書や作品が並び5田熊さんの作業場6かんびんさんがデザインしたTシャツやグッズなども販売中

窓が多く、柔らかな日差しが降り注ぐ事務所内。開設の際は、内壁を塗り直す程度で済んだほど、きれいな状態のまま残っていたそうです。家具や本棚などは、手作りや地元の大工さんに制作してもらったもので、ぬくもりあふれる空間が広がっています

大学院在学中にアジア諸国を旅した後、卒業後は台湾の地方都市・イーランの建築設計事務所に就職した田熊さん。街は自由で開放的で、活気に満ちていて大きな刺激を受けたと言います。地方都市の豊かな環境で小学校や広場、美術館などの公共建築の設計に携わった経験が、古河での創業につながったそうです。

「創業」で輝く 市の空き店舗等対策事業補助金を活用した市内での創業事例

「古河市はチャレンジすることをお勧めするまち」



田熊隆樹 Taguma Ryuki
マンライスタジオ一級建築士事務所
一級建築士/早稲田大学非常勤講師

古河市を選んだきっかけは？

父親が古河市出身だったこともあり、お正月に親戚が集まるなど、もともと古河市にはゆかりがありました。独立を考えていた時に改めて市内を巡りましたが、田んぼや川が流れる景色など雰囲気台湾にすごく似ていて、この地に事務所を開こうと決めました。東京へのアクセスの良さも決め手の一つですね。

周囲の反応は？

独立する人が少ない業界ではありますが、家族や親族は応援してくれましたね。なじみがある古河の地での独立ということで、安心したのではないのでしょうか。1年ほど前に事務所を設立し、1月に事務所を構えたばかりなので地域の人たちとのつながりはまだ薄いですが、これから関係を深めていければと思っています。

物件はどうやって探したか？

商工会議所での活動を通じて市役所を度々訪れ、古河サークルの取り組みなどを聞きながら市内で何軒か物件を見て回りました。味がある感じの物件を探していたのですが、そういった所はどうしてもリフォーム費用がかかる。しかしここはきれいな状態で残っていて、立地的にも静かで駅に近く、大家さんともとてもいい人だったのですぐに決めました。

創業して見えたもの

市の空き店舗補助金の存在を知っていたので資金面の心配は少なく、挑戦してみようと思えました。古河に住んでみて感じたのが、人とのつながりの大切さ。商工会議所に入会しましたが、さまざまな業種の人とつながりができたことは大きな財産です。この環境のおかげで古河周辺での建築関連の仕事も徐々に増えてきました。地元の商店会にも加盟し、ゆくゆくはイベントなどの機会にオープンギャラリーをすることも考えていますので、その際はぜひ、お立ち寄りください。

創業を考えている人へメッセージ

何を始めるにも不安はあると思います。私もそうでしたが、人を紹介してもらうなど、周囲のサポートなくして今はありません。古河はいの意味で小さいまちなので、一歩踏み出しいろいろと動いてみると、思ってもみなかった展開が待っているのが面白いと思います。行政の人たちも親身に相談に乗ってくれるので、積極的に活用してみたいかがでしょう。